キャラクター名: ”淑女戦士”アルテミア・グローリアス

プレイヤー名:

メインクラス	シーフ	**Lv.1:**		**レベル**	2
サポートクラス	サロゲート	**Lv.1:**	サロゲート	**性別**	女性
称号クラス				**年齢**	不明
種族	ヴァーナ			**境遇**	救済
出自（効果）	孤独			**目標**	研鑽

	筋力	**器用**	**敏捷**	**知力**	**感知**	**精神**	**幸運**
基本値	8	8	18	6	11	9	8
ボーナス	2	2	6	2	3	3	2
クラス修正	0	2	1	0	1	1	1
他修正			1		1		
能力値	2	4	8	2	5	4	3

HP	38
MP	36
フェイト	5

装備品		**射程**	**命中**	**攻撃**	**回避**	**物防**	**魔防**	**行動**	**移動**
右手	召喚具:フラガラッハ		-1	11				-1	
左手									
頭部	S2ハット				1	1			
胴部	S2ローブ				1	2			
補助	バックラー				1	2			-1
装身具	グローヴィスの印		1						
能力値			4	0	8	0	4	13	7
スキル				6					
その他									
総計(右)			4	17					
総計(左)			5	6	11	5	4	12	6
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	3 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 3 d
トラップ解除	4		1	5	+ 3 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
【アームズクリスタル】	ランチボックス
S1ハット	└野菜*5
└感知のクリスタル	MPポーション×4
└回避のクリスタル	シーブズツール
S1ローブ	毒消し×2
└敏捷のクリスタル	消耗品
└回避のクリスタル	
ベルトポーチ	
バックパック	
冒険者セット	

現在重量： 12		
最大重量： 15	所持金： 42	預金・借金：

スキル名	**SL**	**コスト**	**タイミング**	**射程**	**対象**	**判定**	**制限**	**メモ**
アクロバット	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：	猫族、作成時に敏捷基本値に+3							
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果：	武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SLx2]							
フェイント	★	4	マイナー		自身	自動		
効果：	自身の攻撃に対するリアクション判定に-1Dする。							
ディバインコール	1	6	セットアップ		自身	自動	ラウンド1回、シーンSL回	
効果：	「種別:召喚具」のアイテムからひとつ選択せよ。そのアイテムを装備する。もし、そのアイテムを装備する部位に別のアイテムを装備していた場合、それらを装備から外しても、携帯品としてもよい。このアイテムはシーン終了時に失われる。							
インタラプト	★		効果参照	視界	単体	自動	シナリオ1回	
効果：	「タイミング:パッシブ、アイテム」以外のスキルの使用宣言時に使用する。そのスキルは効果を発揮せず、持続もせずに即座に終了となる。コストは通常通り使用する。							
	1							
効果：								
バタフライダンス	★		パッシブ		自身			
効果：	回避+1D							
アームズマスタリー:召喚具	★		パッシブ		自身			
効果：	命中+1D							
アポスル:ソード	2		パッシブ		自身		軽剣・長剣・両手剣装備	
効果：	武器攻撃のダメージに+[SL*3]する。他のアポスル取得不可							
フェンサーI	★		効果参照		自身	自動		
効果：	武器攻撃と同時に使用する。フェイトを1点消費。その攻撃のダメージに+[対象数]Dする。							
リムーブトラップ	1		パッシブ		自身			
効果：	トラップ解除+1D							
ファインドトラップ	1		パッシブ		自身			
効果：	トラップ探知+1D							
効果：								
効果：								
効果：								

彼女の出生に関する情報は一切不明である。本人の話によると、物心がついたころには既に一人だったという。この過酷なアースランの大地でたった一人で生き延びてきたのだ。私が保護した時には言語を解さず近づくと襲い掛かってきたものだが、根気強く接すると軟化していった。その後に言語とこのアースランについてを教えた。「神」という存在からして知らなかったので大変ではあったが、妻を亡くしたこの身からすれば娘のようで愛らしかった。言語に関しては、グローヴィス様に礼を欠くことのないよう丁寧な言葉遣いを教えることにしていた。その甲斐あってか、数年する頃には立派な淑女戦士となっていた。
ある日、アルテミアは「見聞を深めたく存じます」と進言してきた。彼女が私に意見を言うのは初めてのことだ。もちろん、拒否する理由はない。少し前に来訪したアーシアンによると、「可愛い子には旅をさせよ」という諺があるらしく、それにあやかってみようというわけだ。差し当たってアルテミアには旅費と苗字を与えることにした。外の世界では苗字があった方が何かと通りがいい。私がまだ二つ名を得る前に使っていた苗字を与えると、アルテミアは嬉しそうにしていた。この日、私と彼女は本当の意味で家族になった。ああ、どうか私の愛しい娘よ、無事に帰ってきておくれ。 □□□とある戦士の手記より

一人称:私（わたくし）
二人称:貴方（様）
三人称:あの方々
養父のような立派な戦士になるためにアースランを出て見聞を深める旅に出た。養父譲りの豪胆な剣術と繊細な手先で戦いの先鋒を務める。
自分の名前を誇りに思っており、名前や家族、仲間を貶されると烈火の如く怒る。普段は人当たりのいい淑女。

「警備検証」
アースランにはない戦闘技術に目を輝かせた。もっともっと強くなれる。